

市民の広場

このコーナーは2週号・4週号に掲載しています。

「市民の広場」掲載の注意事項

- 「市民の広場掲載依頼書」(広報広聴担当または公共施設に設置)を利用施設で確認をとってから広報広聴担当に提出してください。
- 政治・宗教・営利活動として行うものは掲載できません。その他「市民の広場掲載のきまり」に準じて掲載します。
- 同一団体の掲載回数は、「仲間募集」と「講習会・講演会」「イベント」を合わせて年3回(4月～翌年3月)までです。
- 催しなど日時が決まっている原稿の締め切りは、原則、広報いちかわ発行日の22日前の金曜日まで(必着)です。

仲間募集の掲載申し込みは現在受け付けていません。

受け付けの再開は4月以降を予定しています。講習会・講演会、イベントについては、締め切り日厳守で受け付けています。なお、継続的な活動を行う団体の一日体験や無料体験会などの行事は、「仲間募集」の扱いとなります。

講習会・講演会

- リヒテルズ直子講演会 2月13日(土)午後2時30分～4時30分/八幡市民談話室/市川に女性市議をふやそうネットワーク/☎350-4090赤沢
- 講演と話し合い「市川の近代文学にみる水と緑」 2月21日(日)午後1時30分～4時30分/中央公民館/300円(資料代他)/市川緑の市民フォーラム/☎373-1971秋元
- 広島被爆体験のお話とビデオ上映 2月21日(日)午後1時30分～4時30分/西部公民館/このだいの九条の会/☎372-8486遠山
- ①「手をつなごう」シンポジウム 2月27日(土)午後1時30分～4時/ボランティア・NPO活動センター/市川ユニーアイ協会/☎324-0200南雲(平日午前9時～午後5時)
- ①点字体験 3月4日(木)午後1時～3時/行徳公民館/点訳ピーアイ/☎377-1243佐久間
- 「かな書道」講習会 3月24日(水)①午前10時30分～正午②午後1時～2時30分/①南行徳市民談話室②文化会館/水声書道協会/要予約/ファクス335-5433(住所、氏名、電話番号記入)大貴

催したのしもう

- バードウォッチング 2月14日(日)午前10時～正午(雨天中止)/小塚山あづまや集合～じゅんさい池/北国分外環対策協議会/☎372-8936越田
- 野外・ネイチャーゲームで遊ぼう(5歳～小学校低学年) 2月21日(日)午前10時～正午/市川駅南公民館他/ボーイスカウト市川第3団/☎371-6474森屋
- ①パン作り(小・中学生) 2月21日(日)午前10時～午後3時/市川駅南公民館/1,000円/みんな

の市川教育フォーラム

- 直径1メートルの地球儀に平和と愛を刻もう(小学生以上) 2月21日(日)午後1時30分～4時/男女共同参画センター/市川市ユネスコ協会/☎338-9168宮澤
- 絵手紙(5歳以上の子と親) 2月21日(日)午後2時～4時/信篤公民館/500円/風の会/☎370-5610大月
- 絵画展 2月23日(火)～28日(日)午前10時～午後6時(初日午前11時から、最終日午後4時まで)/八幡市民談話室/ダックスアトリエ/☎359-9724判田
- コサージュ作り(女性) 2月26日(金)午後1時30分～3時30分/市川公民館/1,800円(材料代込み)/布の花作り会/☎324-6660吉田
- セーターで人形づくり 3月2日(火)午前10時～正午/中央公民館/300円/古セーター持参/手づくりクラブ/☎378-6415山口
- 写真展 3月2日(火)～7日(日)午前10時～午後5時(初日は正午から、最終日は午後4時まで)/八幡市民談話室/市川写友会/☎322-3075津田

仲間やってみよう

- 英会話 月1回土曜日午後5時～8時/南行徳市民センター/月4,000円/1.2.3英会話サークル/☎090-8414-9992坂井
- 市川市身体障がい者福祉社会員募集(市内在住の身体障害者手帳の交付を受けている方およびその家族など) 障害者いこいの家/年1,000円他/同会/☎322-0904柴田
- 南京玉すだれ、ヨサコイソーラン(中高年) 月2回土曜日午前10時～正午/南八幡老人ホーム本館いこいの家/月500円/ひまわり/☎324-5496伊森
- 音楽による健康体操(中高年) 月4回水曜日午前10時～正午/勤労福祉センター/月2,500円

グリーンシアター「嵐が丘」

(第12回アカデミー撮影賞受賞作品、1939年制作)

荒野に建つ館「嵐が丘」を舞台に、孤児のヒースクリフとキャシーの愛憎と復讐を描いた物語。世界の3大悲劇小説の一つと呼ばれる名画をお楽しみください。

③3月9日(火)午後2時～(午後1時30分開場)、上映時間約105分

④メディアパーク市川2階グリーンスタジオ

⑤抽選で220人

⑥往復はがきに代表者の郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望人数(はがき1枚につき2人まで)、返信あて先を書いて、2月25日(木)で(消印有効)に、映像文化センター「名作スペシャル係」(嵐が丘)〒272-0015鬼高1-1-4メディアパーク市川2階)

⑦☎320-3334映像文化センター※月曜休館

/サンフラワー/☎370-6928北村

●詩歌吟詠 月2回火曜日午後1時～4時または木曜日午後6時～9時/中央公民館/月1,500円/桜吟会/☎333-2246野村

●書道(毛筆・硬筆/小学生以上) 月4回金曜日午後3時30分～5時30分/鬼高公民館/月3,000円/子ども書道/☎333-1805望月

●クラシックバレエ(女性) 月4回水曜日午前10時～正午/男女共同参画センター他/1回1,300円/有料保育あり/ラ・シルフィード/☎090-4090-3248糟谷

講座 社会起業家ってなあに「ひろげよう海外支援の輪」

- ⑧[海外支援の事例発表]
 - チームピースチャレンジャー「インド・バングラデシュへの支援」
 - 市川市ユネスコ協会カンボジア支援活動
- [講座]カンボジアの児童買春問題に挑む若きNPO「かものはプロジェクトについて」
- 講師 可部州彦氏(元カンボジア駐在員)
- ⑨2月20日(土)午後1時～4時
- ⑩男女共同参画センター7F研修ホール(市川1-24-2)
- ⑪先着100人(要電話申し込み)
- ⑫☎326-1284ボランティア・NPO担当

公開講座 「心と言葉～子どもの感性・表現をどう引き出すか～」のご案内

市川手児奈文学賞実行委員会が実施する市内小学校での短歌・俳句・川柳の出席授業の事例報告とともに、学校教諭が小中学校での取り組み事例を紹介します。教育関係者はもちろん、親子で作品創りをされている方、短詩文芸に興味のある方は、ぜひ、ご来場ください。

- ⑬2月27日(土)午後2時～
- ⑭行徳公民館第1、2学習室
- ⑮座談会出席者 市川手児奈文学賞選考委員、小中学校の教諭5人
- ⑯☎334-1107文化振興担当



1% 支援制度 市民活動団体

1%支援制度の支援対象団体の活動を紹介するコーナーです。原則、各団体からいただいた原稿を、そのまま掲載しています。

- ◆講演会「元気野菜de元気人間」2月21日13時45分～市川市市民会館/参加費500円/とっても楽しく聞けて健康に関する今までの常識がひっくり返される話。聞いただけで元気になるかも/Re-いちかわ/庄司☎372-1961
- ◆認知症サポーター・ステップアップ講座in市川/2月23日～3月30日の毎週火曜日/18時30分～20時30分/行徳公民館/6回3,000円/若年性認知症の冊子も配布/詳細は☎357-6383 NPO法人 地域福祉応援団Pネットへ
- ◆いちかわクラシック音楽鑑賞会は、クラシック音楽を通じて社会を活性化化する事業を行っています。村上正治記念ちばマスターズオーケストラと共同でミニコンサートを開催します。2月27日(土)14時～男女参画センター

- ◆楽譜点訳の会ポコは障害のある音楽家や音大生をサポートしています。「楽譜点訳講習会ご案内」募集若干名/3月第1～第4毎金曜14時～16時/会場:国府台集会所(長谷川☎372-4038申込問合せ)参加費・教材2,000円他
- ◆地域社会のIT情報格差を一人でも減らすようパソコンを通じてコミュニティができればと活動しています。3月6日(土)13日(土)17日(水)の全3回13時30分～行徳公民館で無料講座開催☎357-4630NPO行徳ITV
- ◆庭木手入れ基礎講座 3月26日学科、29日実技予定/参加費2,000円/60～70歳で脚立に上って作業できる方/申し込み方法等詳細は27日号の広報に掲載予定☎326-7000シルバー人材センター内 くすの木会庭木基礎講座係

ご応募をお待ちしています。

- はがき1枚に未発表のもの
- 2作品(ふりがなまで)
- 応募部門・住所氏名(ふりがな・電話番号)を明記
- あて先/広報広聴担当
- ⑰締め切り/毎月5日
- ⑱掲載翌月の2週号

「咳してもひとりソリや結構な風邪予防
背伸びしてよろけてしまおう 齢になり
三猿で余生を生きたる 老いの智慧
真夜中の夫のくつきさめ 夢ゆらぐ
不器用にただひたすらに古稀の春

市川 澤田美佐子
平田 山崎 蓉子

川柳 岡本 公夫 選

露天風呂で降り来る雪に言ってみる
「おぼんやんす しばれるねえと
本行徳 矢吹 久子

合格の通知を先に受けし孫
友の朗報メールにて待つ
曾谷 洪谷 雅子

真向かひに建ちゆく家の木材の
香が漂ひ来窓を開ければ
曾谷 林田美奈子

あえきつつ鳥取砂丘のぼり切り
青き日本海の風に吹かるる
稲荷木 秋本 和子

短歌 神作 光一 選

年の瀬の町の灯が漁火の
ごとく遠しと入院の夫
平田 山崎 蓉子

病院の高き聖樹と撮られけり
福栄 安野 良子

俳句 井上 信子 選

柿少し残して梯子はずされる
柏井町 白土 武夫

春浅し夫に重湯をふき冷ます
菅野 大熊 正子

石路咲くや母恋ふ姉妹預りて
市川 澤田美佐子

故里に心傾く都鳥
市川 村上みよ子

いちかわ文芸

「俳句選評」白土さん。今年豊作だった柿。ずいぶん楽しんでました。近所にもお分けした。木守柿と言はれていくる。御病気の御主人へ重湯を慎重に口元へ。「春浅し」は、看病する方の気持なのです。澤田さん。幼い女の子二人。預ってはみたものの、私だて心細い。もうすぐお迎えが来るからね。石路の花は、いつもの日溜りに。村上さん。市川には、川も入江もあって小さな百合も来ます。都鳥と言ふと物語めいて層物思いが深まります。安野さん。この句、実景をそのまま言っているのに、いろいろ背景と心境が思われます。聖樹が静かです。早く退院出来そうです様に。

「短歌選評」山崎さん。しっかりとした歌い方で、作品に安定感がありますね。とりわけ、「漁火のごとく」という比喩表現が効果的です。林田さん。「木材の香」という嗅覚でとらえた点に注目しました。そして、四句切れ、倒置法という表現法に魅かれました。秋本さん、さわやかな二首です。その情景が目につくおもしろいです。ただし、第四句の字余りが少し残念です。洪谷さん、お孫ちゃんの人柄が出てくる点が長所です。矢吹さん、下の句の方言を交えた表現に迫力があり、佳作です。

「川柳選評」今月は破天荒な傑作で始まります。白土さんの新型インフル大流行を風刺した傑作時事吟。括弧内は尾崎放哉の自由律俳句の名句だということ。は「存じの通り、放哉の苦笑が見えるこれぞ川柳です。続く飯尾さん、ありますねえそういつこと気持ちのよい伸びのあと頭が白くなったりして。「見猿聞か猿言わ猿」の三猿で波風立てぬおつきあい、森田さんの挿んだ老いの智慧。昔の言い伝えは味がありますね。飛び起るほどの夫の巨大「くつきさめ」に甘い夢も揺れてしまった澤田さんへは笑いをこらえてお気の毒様。最後は山崎さんの古稀を迎えて見定めた悟りの句。不器用でいい。ひたすらであらばいい。ひとの一生が美しいのはひたむきな姿です。

4月から6月までの川柳選者は、原光生先生です。

原光生先生の略歴 昭和11年生まれ。鬼高公民館にて西村在哉川柳講座を受講し、平成11年に鬼高川柳会を立ち上げ。その後、伊藤祥太氏に師事し、川柳新潮社同人として活躍。現在、川柳新潮社主幹。

JCN市川(CATV) アナログ9ch デジタル11ch

「マイタウンいちかわ」 放送時間 2月13日(土)～2月19日(金) 10:00 12:30 19:00 22:00

特集 エイズ等性感染症予防啓発キャンペーン

「マイタウンいちかわ」のバックナンバーは、市のホームページ「インターネット放送局」でご覧になれます。

いちかわエフエム 83.0MHz「エコーいちかわ」 月曜日～金曜日/10:00 18:45 (広報広聴担当)